

主に呼び寄せられた者たち

マルコによる福音書三章13〜19節

イエスが山に登って、これと思う人を呼び寄せられると、彼らは御もとに來た。そこで、十二人を任命し、使徒と名付けられた。彼らを自分のそばに置くため、……。(13、14)

主イエスが十二弟子を選ばれたとき、「これと思う人を呼び寄せられると」とあります。元の言葉の意味は、何の理由もない、ただ主がこの人を、とお考えになったというだけの理由でこの十二人が集められたことを意味します。なぜこの人が使徒となったのか、そう問われても他に理由はないのです。裏切り者のユダやペトロなど、選ばれた側に理由を見つけようとしても、理由など見当たらないのです。ただ主がそうお望みになったとしか言いようがありません。今も主は、「これと思う人」を教会に呼び寄せてくださいます。「なぜ私か?」「なぜあの人か?」と問うても答えなどありません。ただ一つはつきりしていることは、主が私たちを呼び寄せてくださったという事実です。そしてそれだけで十分ではありませんか。主イエスが私たちを、これと思ってくださったのですから。